

SHIMANTO | 2

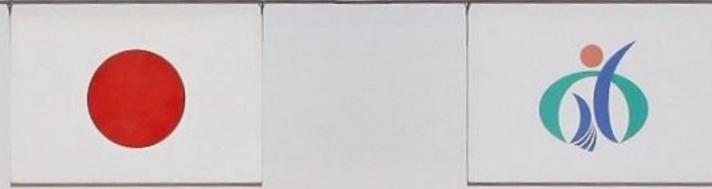
四万十町通信 2024.VOL.215

FEBRUARY



令和六年
二十歳の集い

祝 令和6年 四万十町 二十歳の集い



／ 実行委員の皆さんに聞きました ／

二十歳の抱負を教えてください

実行委員長

林 巧望 さん

社会人として、周りの方々から信頼されるような二十歳になりたいと思います。

副実行委員長

那須 詩音 さん

やるときはやる。楽しむときは楽しむ。メリハリをつけることを意識したいです。

実行委員

横山 鈴 さん

当たり前のことを当たり前と思わない。日々努力し、精進していきたいと思っています。

実行委員

藤田 和羽 さん

一日一日を大切に、そして楽しく過ごし、周りや自分の笑顔を増やしていきたいです。

実行委員

河上 絵里 さん

大人の一員としての自覚と責任を持ち、これから精一杯頑張っていきたいと思っています。

実行委員

山本 公太 さん

何をするにも元気でいることが大切だと思うので、健康第一で過ごしていきたいと思っています。

令 和6年1月2日、窪川四万十会館にて令和6年四万十町二十歳の集い(旧成人式)が行われ、今年136人が出席しました。同級生との久しぶりの再会を喜び、記念写真を撮ったり、昔話に花を咲かせていました。式典の中で祝辞を述べた中尾博憲町長は、

「二十歳とされる皆さんには、希望に満ちた輝かしい令和六年の新春をお迎えになられたと思います。皆さんは、二十歳という大きな人生の節目を迎えました。今後は社会の一員として、地域社会や日本の未来を担うという重い責任が生じて参ります。また、これらのことを自覚し、自らの判断と責任により行動することが求められます。

社会的要請に応えるためにも、二十歳を契機としてしっかりとした人生設計を行い、これまでにも増して真摯な自己の研鑽に努められ、それぞれの目標達成に向けて一歩一歩着実に前進されますことをお祈り申し上げます。」とふるさとである四万十町の将来を担う新たな門出を迎えた参加者へエールを送りました。



興津小学校がぼうさい甲子園大賞受賞

小学生部門において最も優れた賞に選ばれました

優れた防災教育を顕彰する2023年度の「ぼうさい甲子園」(1.17防災未来賞)-毎日新聞社等主催で、興津小学校が小学生部門で最も優れた「ぼうさい大賞」に選ばれました。

興津小では、「防災の一步は健康づくりから」をテーマとし、避難に必要な健康の維持と防災意識の向上をめざした「興津防災パワフルウォーキングマップ」を作成しました。マップには、「チャレンジ」や「モデルコース」を記載し、防災施設を巡りながら健康作りに取り組む工夫が盛り込まれています。

昨年12月23日に兵庫県公館において「ぼうさい甲子園」表彰式・発表会が開催され、興津小から5・6年生10名が参加しました。200名の参加者を前に、防災マップの作成を通し「みんなで生き抜くために」防災学習を行ってきたことを堂々と発表しました。

3学期には、子どもたちからの便りを添え興津地域に「興津防災パワフルウォーキングマップ」を配布する予定です。



四万十町防災講演会が開催されました！

防災には本番がある、過去の経験から学ぶ

1月14日、窪川四万十会館で防災講演会が開催され、約200名が参加しました。第1部は、東日本大震災で被災された宮城県石巻市の元中学教諭、佐藤敏郎氏の防災講話。震災当時、大川小学校で6年生の娘を津波で亡くされた佐藤氏。悲惨な出来事から13年。今もなお、全国各地で講演を続け、あの出来事と向き合い、そして前へ進み続ける佐藤氏の姿や言葉の力に会場からは涙する姿も見られました。

また、第2部では、「防災活動に参加する住民が少ない」をテーマに、自主防災組織シンポジウムが開催され、パネリストからは、従来の訓練を継続することの必要性、さらには、若い世代が気軽に防災に触れられる防祭フェスのような新たな取り組みも必要ではとの意見交換がなされました。



SDGs講演会を開催しました！

今回のテーマは環境について

令和5年12月3日に窪川四万十会館にて、SDGs講演会が開催されました。天気にも恵まれ、多くの家族連れでにぎわいました。当日は、影野小学校6年生によるSDGsに関する取り組み発表や四万十川財団事務局長の神田修氏、特定非営利活動法人環境の杜こうち理事長の内田洋子氏による講演が行われました。館内では、町内小学生の作品「環境絵日記」の展示、小物入れ工作や年輪ペンダントのワークショップ、フードライブやわんにゃんプロジェクト、環境コーナーなどSDGsに関連する多くのブースが出店しました。町としましては、引き続きSDGsを推進してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

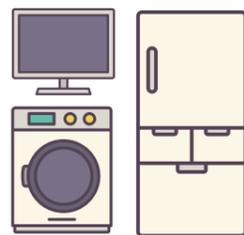


Gathering of the Twenty-Years-Old
 2024
 Photo gallery



家電リサイクル法対象製品の処分方法について (テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン)

不法投棄されるごみの中で多い廃棄物の一つが、上記の「家電リサイクル法対象製品」です。家電リサイクル法対象製品は、ごみ集積所への排出およびクリーンセンター銀河での引き取りはできません。たとえ小さく解体しても排出引き取りはできませんので、次の方法で処分をしてください。



家電リサイクル法対象製品の処分方法

1 買い替えの場合

新しい製品を購入する販売店に引き取りを依頼

2 廃棄のみの場合

製品を購入した家電販売店に引き取りを依頼

3 販売店が廃業、もしくは遠方にある場合

引き取り協力販売店または環境水道課に依頼

①引き取り協力販売店に依頼

家電リサイクル券は販売店に用意がありますので、リサイクル料金と運搬手数料が必要です。料金および手続きについては、事前に各販売店にお問い合わせください。

※「引き取り協力店」とは、町民の皆さまが、安全・安心、また円滑に家電を処理できるように回収および処理にご協力いただいている町内の家電販売店です。

②環境水道課に依頼

家電リサイクル券(ご自身で購入)と運搬手数料が必要です。日程調整後に収集し、後日送付する納付書にて運搬手数料をお支払いいただきます。

※家電リサイクル券は、郵便局で購入。その際は、廃棄する家電のメーカー名、テレビについては画面サイズ、冷蔵庫・冷凍庫については内容積の確認が必要です。

4 自分で指定引取場所へ運搬する場合

家電リサイクル券を郵便局で購入後、家電製品に貼り付け、指定引取場所の営業時間を確認の上持ち込み

※指定引取場所およびリサイクル料金などは、一般財団法人家電製品協会家電リサイクル券センターのホームページ(www.rkc.aeha.or.jp)でご確認ください。

●引き取り協力店一覧

(営業の状況により、当日引き取りできない場合もありますので、事前にお問い合わせください。)

【窪川地区】駅前電化センター(有) 北琴平町1-25 ☎22-0764

岡部電気 興津1476-2 ☎25-0328 優丸電気 興津1882-1 ☎25-0364

【大正地区】吉良電気店 大正432-8 ☎27-0226

●環境水道課の運搬手数料(1台あたり)

- ・テレビ: 3,460円・冷蔵庫・冷凍庫(200ℓ未満): 2,620円・冷蔵庫・冷凍庫(200ℓ以上): 3,670円
- ・洗濯機・衣類乾燥機(能力7kg未満): 2,400円・洗濯機・衣類乾燥機(能力7kg以上): 3,460円
- ・エアコン(室外機を含む): 3,560円

【お問い合わせ先】

環境水道課 ☎22-3119 大正地域振興局 町民生活課 ☎27-0112 十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112



仁井田米コメッツ 全国大会出場決定!

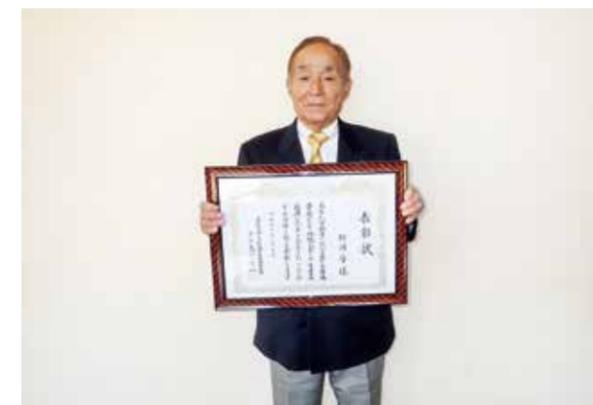
町内小学生ソフトボールチームが快挙!

第17回全日本春季小学生男子ソフトボール大会への出場を懸けた高知県予選の決勝リーグ戦が令和5年12月16日に春野総合運動公園で行われ、仁井田米コメッツが嬉しい初優勝を果たし、全国大会への出場権を手に入れました。

仁井田米コメッツは、影野小3名、仁井田小5名、窪川小3名、米奥小1名、七里小1名、中央小(津野町)1名の児童の計14名で活動しており、「全国大会行くぞ!」を合言葉に日々、練習に励んできました。

「仁井田米コメッツ」というユーモア溢れるチーム名にも想いが込められており、3年前、旧チーム名の「高南・土佐SBS」という名称で全国大会へ出場した際、高知県四万十町のチームだと分かってもらえなかったことをきっかけに、もっとインパクトのあるチーム名にしようと改名。

チームは、3月30日から群馬県渋川市で開催される全国大会に出場し、全力プレーで初戦突破を目指し、地域に元気を届けようと意気込んでいます。



高知県スポーツ推進委員功労者表彰

利岡守さんが受賞

令和5年12月9日の高知県スポーツ推進委員研修会において令和5年度高知県スポーツ推進委員功労者表彰が行われ、四万十町スポーツ推進委員である、利岡守さんが受賞しました。利岡さんは軟式野球の審判員育成に尽力され、令和5年2月には全国軟式野球連盟から特別功労賞も受賞しています。



高知県中学校男子選抜 ソフトボールチームに7名が選出!

県代表として都道府県対抗 全日本中学生ソフトボール大会に出場!

第20回都道府県対抗全日本中学生男子ソフトボール大会へ出場する高知県選抜チームのメンバーに、町内の中学生7名が選出されました。

高知ソフトボール協会が実施した選考会によって選出された選手たちは、高知県代表としての自覚を持ち、チームの一員として貢献できるよう日々の練習に励んでいます。

選抜チームは、3月24日から東京都あきる野市で開催される大会に出場します。

令和5年度 入札結果 (令和5年12月実施分)

工事名等	工事場所等	落札業者名	契約金額(円)	入札日	工期
令和5年度 十浚渫 第2号白井川 河川浚渫工事	十川	(有)外崎建設	6,622,000	12/7	12.14～2.29
令和5年度 十道防 第1号町道大道日吉線 道路防災対策工事	久保川	(有)松元建設	4,279,000	12/7	12.14～3.31
令和5年度 公単災 第45号小野地区公衆用道路 道路災害復旧工事	小野	(有)松元建設	6,501,000	12/7	12.14～3.31
令和5年度 5災 第127号町道二の又線 道路災害復旧工事	井崎	(有)十和建設	9,185,000	12/7	12.14～3.31
令和5年度 防安全 第6-3-1号町道川ノ内芳川線 道路改良工事	芳川	(株)井原組	4,213,000	12/7	12.14～3.10
令和5年度 防安全 第6-7-1号町道大奈路中津川線 道路改良工事(赤岩工区)	木屋ヶ内	(株)井原組	23,848,000	12/7	12.14～3.27
令和5年度 5災 第222号一級水系準用河川 柳ノ川 河川災害復旧工事	口神ノ川	(有)三浦建設	2,772,000	12/7	12.14～3.31
令和5年度 5災 第221号一級水系普通河川 羽立川 河川災害復旧工事	家地川	(有)トシマ建設	5,577,000	12/7	12.14～3.31
令和5年度 防安全 第1-18-1号町道針木線 上宮大橋耐震補強設計委託業務	上宮	(有)高南技術コンサルタント	15,400,000	12/7	12.14～3.27
令和5年度 移住定住促進用中間管理住宅改修工事(小野)(建築主体)	小野	芝工務店	16,830,000	12/26	1.6～3.31
令和5年度 四万十町国民健康保険大正診療所施設改修工事	大正	(株)田邊建設	15,730,000	12/26	1.6～3.20
令和5年度 移住定住促進用中間管理住宅改修工事(小野)(電気設備)	小野	岡山電気(株)	2,926,000	12/26	1.6～3.31
令和5年度 移住定住促進用中間管理住宅改修工事(小野)(機械設備)	小野	(有)土居電気工事	9,185,000	12/26	1.6～3.31

※予定価格250万円以上の工事・委託業務についてのみ公表しています。契約金額は、消費税及び地方消費税込みの金額。

戦没者遺族相談員について

四万十町担当の戦没者遺族相談員に、令和5年10月1日付で、坂本功氏が任命されました。

戦没者遺族相談員は、厚生労働大臣より任命を受け、戦没者遺族に係る各種年金、給付などの受給に関する事など幅広い相談に応じています。

ぜひお気軽にご相談ください。

坂本 功 委員(七里甲1227番地)

☎ 23-0148

任期:令和7年9月30日まで



新聞紙のリサイクル

新聞紙はリサイクル後に新聞用紙、印刷用紙、ボール箱、絵本や週刊誌の用紙になります。四万十町での排出方法は、折り込みチラシを除いた新聞紙のみを紐で十字に縛って排出してください。濡れるとリサイクルできなくなりますので雨の日は排出をご遠慮いただくか、ビニール袋に入れて濡れないよう排出するご協力をお願いします。



【お問い合わせ先】 環境水道課 ☎22-3119
大正地域振興局 町民生活課 ☎27-0112
十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112

戸籍の取得など、便利に！

戸籍法の一部の改正に伴い、令和6年3月1日から、次の制度が始まります。

① 戸籍の広域交付

四万十町以外に本籍地がある方でも、四万十町役場の窓口で、戸籍の取得が可能になります。

※抄本(個人事項証明書)、一部事項証明書は取得できません。

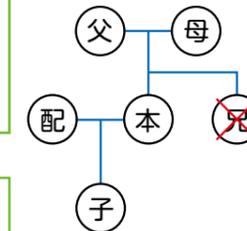
取得できる方

本人、配偶者、父母・祖父母など(直系尊属)、子・孫など(直系卑属)

※兄弟姉妹は直系ではないので、原則取得できません。

窓口に持ってくるもの

顔写真付きの身分証明書(マイナンバーカード、運転免許証など)



② 戸籍謄抄本の提出不要化

戸籍の届出(婚姻届や養子縁組届など)、社会保障(児童扶養手当や国民年金など)手続きの際に、戸籍謄抄本の提出が不要となります。

※ケースによっては、引き続き添付が必要な場合もあります。

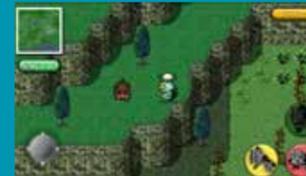
詳しい内容については、法務省ホームページ「戸籍法の一部を改正する法律について(令和6年3月1日施行)」でご確認ください。



法務省
ホームページ

【お問い合わせ先】

町民課 ☎22-3117 大正地域振興局 町民生活課 ☎27-0112 十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112 興津出張所 ☎25-0001



四万十町の公式アプリ「40010～ヒミツのともだち～」は、四万十町をマップとしたRPGゲームです。釣りやカヌーなどのミニゲームで、四万十町をまるごと楽しむことができます。アプリをダウンロードして四万十町を隅々まで遊びつくしましょう！



iphone用QRコード



android用QRコード



電話による申告相談をご利用ください

開設期間（“確定申告”電話相談センター） 1月17日(水)から3月15日(金)まで

所得税および復興特別所得税・贈与税・消費税および地方消費税の確定申告に関するご質問やご相談にお答えします。

なお、土・日・祝日については、2月18日(日)および2月25日(日)のみ、電話相談を行っております。

受付時間 8:30から17:00まで

自動音声のご案内します 国税相談専用ダイヤル(0570-00-5901)

国税相談専用ダイヤル(0570-00-5901)にお電話いただき、自動音声案内に従い、「0」番を選択してください。



e-Tax・作成コーナーヘルプデスクのご案内

e-Taxソフト・確定申告書等作成コーナーの事前準備、送信方法、エラー解消などの使い方に関する問い合わせの専用窓口としてヘルプデスク(0570-01-5901)を設置しています。

申告などの内容に関する事項、税法関連事項については、AIを活用した税務相談「チャットボット」をぜひご利用ください。



その質問、チャットボットに相談しませんか？



税務職員ふたば

スマホでのご利用はこちらから▼

- ・ 所得税の確定申告
- ・ 消費税の確定申告
- ・ インボイス制度



24時間利用可能

・チャットボットは、AI（人工知能）が自動で回答するウェブサービスです。国税庁ホームページ（<https://www.nta.go.jp>）からご利用いただけます。
・メンテナンス等によりご利用できない場合があります。

税務署からのお知らせ 確定申告について

確定申告は マイナンバーカードとスマホですますます便利に！

☑ 確定申告書は、e-Taxで便利に作成できます

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」は、スマホやパソコンから画面の案内に沿って金額などを入力するだけで、申告書や青色申告決算書・収支内訳書の作成・e-Taxによる送信ができます。



確定申告書など作成コーナーはこちら！



☑ マイナンバーカードを使ってさらに便利に

令和5年分確定申告からは、新たに給与所得の源泉徴収票・国民年金基金掛金・iDeCo・小規模企業共済掛金の控除証明書などがマイナポータル連携（自動入力）の対象となります。



マイナポータル連携の詳細についてはこちら



税務署から 確定申告会場についてのお知らせ



開設期間 2月16日(金)から3月15日(金)まで（土・日・祝日を除く。）

※上記の期間より前は、確定申告会場を設置しておりませんのでご注意ください。

ただし、作成済みの申告書などの提出は受け付けております。なお、贈与税や土地などの譲渡所得について申告相談を希望される方は、担当職員が従事している、3月4日(月)以降にお越しください。

受付時間など 8:30から16:00まで（相談開始は9:00から）

混雑緩和のため、会場への入場には、入場できる時間帯が指定された「入場整理券」が必要です（作成済申告書の提出のみであれば不要）。入場整理券は当日配付しますが、LINEを通じたオンライン事前発行も可能です。なお、入場整理券の配付状況に応じて、16:00前であっても受付を終了する場合があります。

国税庁LINE公式アカウントはこちら



確定申告会場では、原則、ご自分のスマートフォンを操作し、申告書を作成していただけます。会場にお越しの方で、スマートフォンをお持ちの方は、スマートフォンをご持参ください。



マイナンバーカードをお持ちの方は、利用者証明用電子証明書（数字4桁）および署名用電子証明書（英数字6～16桁）のパスワードをご確認の上、必ずご持参ください。

新型コロナワクチン接種についてのお知らせ

接種ご希望の方で、お手元に接種券がない方は、健康福祉課までお問い合わせください。
コールセンターでの予約受付は令和5年12月22日をもって終了となりました。
1月以降のコロナワクチン接種の予約・お問い合わせは健康福祉課までお願いします。
3月末で無料期間は終了となります。

	予約先	接種医療機関(接種可能日)	使用するワクチン	接種費用
初回接種 (1,2回目)	健康福祉課 (22-3115) 受付時間 8:30~17:15 (昼休み12:00~13:00・土日祝日は休み)	大西病院(月曜日)	オミクロン株 X B B 1. 5対 応1価ワクチン (ファイザー社) ※ワクチンの供給状況などにより、変更となる場合があります。	無料 (3月末まで)
生後6カ月~1歳		町外医療機関 ※1歳未満のお子様については、町外の医療機関にて接種していただきます。ご了承ください。		
1歳~11歳		大西病院 ※十分なワクチンの確保ができないため、1か月に1回程度の受付枠とします。詳しくは健康福祉課までお問い合わせください。		
12歳以上 (追加接種)		個別接種 石川ヘルスクリニック(火曜日・木曜日) ファミリークリニック四万十(月曜日・金曜日) 大西病院(金曜日) 大正診療所(金曜日) 十和診療所(木曜日)		



※詳しくは、行政放送もご確認ください。

【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎22-3115

低所得世帯生活支援給付金(追加給付)のお知らせ

低所得世帯生活支援給付金は、エネルギー・食料品などの物価高騰による家計への影響が特に大きい低所得世帯の負担を軽減するため、住民税所得割非課税世帯などを支援する給付金です。

支給金額

1世帯あたり7万円

(すでに支給を行った3万円と合わせて計10万円の支給となります。)

支給対象世帯

以下の要件のいずれにも該当する世帯

- ①令和5年12月1日に四万十町に住民票のある方の世帯
- ②住民税非課税世帯および均等割のみ課税世帯

令和5年度分の住民税課税額が5,500円以下の世帯員のみで構成されている世帯(住民税が課されている別世帯から扶養されている場合も支給対象となります)
※対象となる世帯には1月下旬ごろから順次通知を送付しています。

給付金支給の時期

2月28日から順次振込みを開始します。

その他

- ・当給付金は非課税となります。
- ・当給付金は差押禁止の対象となります。



【お問い合わせ先】税務課 ☎22-3116

町有地を売却します

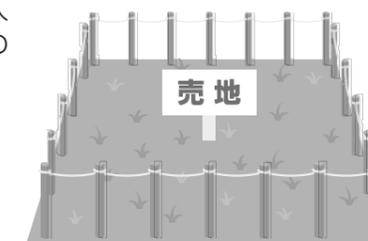
町有地(遊休地)を売却するにあたり入札を行います。詳しくは、入札要領を町のホームページなどでご確認ください。入札要領は、下記の申込場所でも配布しています。

申込期間 2月9日(金)~3月1日(金)

土・日・祝日の閉庁日を除く。

申込場所 総務課、大正・十和地域振興局 地域振興課

申込方法 直接持参・郵送(簡易書留など) ※電話・メール・FAXは不可



物件番号	場所	地目	面積	最低売却価格
1	四万十町金上野字三本松1326-1	雑種地	287㎡	4,140,000円
2	四万十町仁井田字岩ノ本1197-11	宅地	165.35㎡	1,310,000円

【お問い合わせ先】総務課 ☎22-3111

ウォームビズ推奨中

-WARM BIZ-



首・手首・足首の「三つの首」を温めて快適に過ごしましょう!

受け取る国民年金額を増やしませんか!

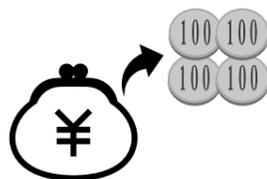
お知らせ

【付加保険料制度について】

付加保険料制度は、国民年金の一般保険料に加えて付加保険料（月々400円）を納めることにより、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされる制度です。

付加保険料を納めるためには、申し込みが必要であり、申し込みをした月分から付加保険料を納めることになります。

お手続きをご希望の方は、町役場またはお近くの年金事務所へ速やかにお申し出ください。



【保険料の後払い（追納）制度について】

老齢基礎年金の年金額を計算するときに、保険料の免除・納付猶予や学生納付特例の承認を受けた期間がある場合は、保険料を全額納付した場合と比べて年金額が低額となります。（納付猶予や学生納付特例の期間は年金の受給資格期間として計算されますが、年金額には反映されません。）

しかし、保険料の免除・納付猶予や学生納付特例の承認を受けた期間の保険料については、後から納付（追納）することにより、老齢基礎年金の年金額を増やすことができます。また、社会保険料控除により、所得税・住民税が軽減されます。ぜひ、追納申込をお勧めします。

【任意加入制度について】

60歳までに老齢基礎年金の受給資格を満たしていない場合や、40年の納付済期間がないため老齢基礎年金を満額受給できない場合などで年金額の増額を希望するときは、60歳以降でも国民年金に任意加入をすることができます。（厚生年金保険、共済組合等加入者を除く）

○任意加入する条件

次の1.~4.のすべての条件を満たす方が任意加入することができます。

- 1.日本国内に住所を有する60歳以上65歳未満の方
※日本国籍を有しない方で、在留資格が「特定活動（医療滞在または医療滞在者の付添人）」や「特定活動（観光・保養等を目的とする長期滞在または長期滞在者の同行配偶者）」で滞在中の方を除く
- 2.老齢基礎年金の繰上げ支給を受けていない方
- 3.20歳以上60歳未満までの保険料の納付月数が480月（40年）未満の方
- 4.厚生年金保険、共済組合等に加入していない方

上記の方に加え、次の方も加入できます。

- ・年金の受給資格期間を満たしていない65歳以上70歳未満の方
- ・外国に居住する日本人で、20歳以上65歳未満の方

お問い合わせ先

高知西年金事務所 ☎088-875-1717
町民課 ☎22-3117
大正地域振興局 町民生活課 ☎27-0112
十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112



休日在宅当番医

2/11(日)	くぼかわ病院	☎22-1111
2/12(月)		
2/18(日)	大西病院	☎22-1191
2/23(金)		
2/25(日)	くぼかわ病院	☎22-1111
3/3(日)		
3/10(日)		

❗ 休日水道修理当番は窪川地域のみです。

大正・十和地域の方は各地域振興局にお問い合わせください。

大正 地域振興課 ☎27-0111
十和 地域振興課 ☎28-5111

休日水道修理当番

2/11(日)	桑原水道	☎22-1163
2/12(月)	横山水道設備	☎22-3608
2/17(土)	岩本商店	☎22-2716
2/18(日)	日化住宅機器	☎22-0407
2/23(金)	宮脇水道	☎22-1581
2/24(土)	高橋設備	☎22-0662
2/25(日)	桑原水道	☎22-1163
3/2(土)	横山水道設備	☎22-3608
3/3(日)	岩本商店	☎22-2716
3/9(土)	日化住宅機器	☎22-0407
3/10(日)	宮脇水道	☎22-1581

無料相談
(秘密厳守です。)

▶行政相談…【窪川】行政相談員 森 英真【大正・十和】行政相談員 山本 安弘

人権相談【大正】	3/14(木) 10:00~15:00	大正地域振興局 2階 小会議室	大正町民生活課 ☎27-0112
1日行政相談【窪川】	3/12(火) 10:00~15:00	農村環境改善センター 2階 第1会議室	総務課 ☎22-3111



犬・猫の飼い方について



生き物を飼う責任を持ち適切に飼いましょう。放し飼いや野良猫に無責任に餌を与える行為が、不幸な猫を増やすこととなります。いま一度生き物の命の尊さについて考えてみませんか。

※教育委員会からの募集は四万十町通信1月号に掲載しています。

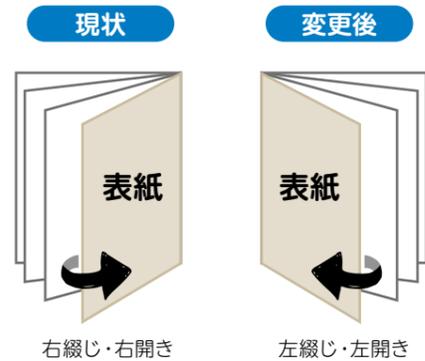
- 申込方法** 総務課・大正地域振興局 地域振興課・十和地域振興局 地域振興課・国保大正診療所・国保十和診療所・特別養護老人ホーム窪川荘・特別養護老人ホーム四万十荘に備え付けの申込書・履歴書に必要事項を記入し、必要な資格などを確認できる書類の写しなどとともに提出してください。(運転免許取得者は、その写しも添付してください。)
- 受付期間** 2月1日(木)~3月29日(金) (土・日・祝日などの閉庁日を除く)
※4月1日以降も随時申し込むことができます。
- 受付時間** 8:30~17:15まで(正午から13:00までの時間を除く)
- 名簿の有効期間** 4月1日~令和7年3月31日
- 面接日時** 4月1日から任用を予定している部署は、3月中旬に面接を実施することがありますので、お早めにお申込ください。(該当者へは別途通知します。)以後は、必要に応じ随時面接します。
- 任用期間** 4月1日~令和7年3月31日までのうち任用が必要な期間(最長1年間)

四万十町通信(広報紙)の
右開き、左開きについて

お知らせ

現在の四万十町通信(広報紙)では、横書きの記事が大半を占めています。そのため、現状の右綴じ・右開きから横文字が見やすい左綴じ・左開きへの変更を検討しています。

ご意見などがある方は、企画課までお問い合わせください。



お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124



四万十町広報作成委託業務における
請負業者の公募について

募集

四万十町では下記事業について、請負候補者を公募します。

- 業務内容** 令和6年度~8年度 四万十町広報作成委託業務
- 選定方法** 公募型プロポーザル方式
- 応募方法** 必要書類を持参もしくは郵送すること。
- 応募期限** 3月5日(火)15:00
- 質疑応答** 質疑事項がある場合は、2月26日(月)15:00までに、電子メールで行うこと。電話・FAXでの質問は原則受け付けません。なお、質疑に対する回答は、2月27日(火)を日処に電子メールで回答を行います。
メール 103010@town.shimanto.lg.jp
- 書類提出先**
〒786-8501
高知県高岡郡四万十町琴平町16番17号
企画課 広報情報係



※詳細は、ホームページに掲載しております。実施要領および仕様書をご確認いただき、手続きをお願いいたします。



お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

会計年度任用職員登録者の募集について

募集

四万十町では、令和6年度の会計年度任用職員登録者を募集します。

「会計年度任用職員」(以前の臨時職員、嘱託職員など)は、行政事務などを補助していただける方、定型的業務を行っていただける方などを名簿に登録しておき、必要な業務に応じて任用させていただくものです。

登録をご希望の方は、下記よりお申し込みください。

なお、この登録については、**任用をお約束するものではありません**ので、ご了承をお願いします。

●募集および登録する職種など

職種	時給	業務内容・要件等	募集している部署及び問い合わせ先
一般事務補助 一般事務補助(障がい者枠)	996~1,030円	簡単なパソコン(ワード・エクセル)操作ができる方	総務課 ☎22-3111 大正地域振興局 地域振興課 ☎27-0111 十和地域振興局 地域振興課 ☎28-5111 十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112
准看護師(保健事業)	1,050~1,286円	十和隣保館デイサービス業務(月2回) 資格・免許取得者	十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112
調理員	996~1,216円	十和隣保館 調理補助(月2回)	
介護支援専門員	1,151~1,286円	高齢者の相談対応や介護予防プランの作成・調整などの業務(有資格者)	高齢者支援課 ☎22-3900
介護認定調査員	1,024~1,252円	要介護認定のための訪問調査業務	
理学療法士	1,143~1,305円	資格・免許取得者	国保大正診療所 ☎27-0210
診療所受付・請求事務(資格不問)	996~1,216円	診療所受付における対応全般・請求等の業務	
マイクロバス運転手	1,216円	診療所送迎バス運転手 運転免許(普通)	国保十和診療所 ☎28-5523
看護師	1,296~1,451円	資格・免許取得者	国保大正診療所 ☎27-0210 国保十和診療所 ☎28-5523
准看護師	1,236~1,424円	資格・免許取得者	特別養護老人ホーム窪川荘 ☎22-8811 特別養護老人ホーム四万十荘 ☎27-0680
ヘルパー(資格不問)	996~1,216円	施設内での高齢者の介護業務	特別養護老人ホーム窪川荘 ☎22-8811
介護福祉士	1,050~1,286円	施設内での高齢者の介護業務 資格・免許取得者	特別養護老人ホーム四万十荘 ☎27-0680
調理員	996~1,216円	施設内での調理補助業務	特別養護老人ホーム四万十荘 ☎27-0680

半平 ひなまつり

イベント

四万十街道ひなまつりの一環として、今年も「半平ひなまつり」を開催します。たくさんのひな人形の展示はもちろん、ひなグッズの販売もあります。期間中、カフェでは限定スイーツもご用意しています。

- 期 間 2月10日(土)～3月20日(水・祝)
※木曜定休
- 時 間 9:00～16:00
- 会 場 古民家カフェ半平



お問い合わせ先

古民家カフェ半平 ☎22-2101

展覧会「アンデパンダン展 (写真の部)」

イベント

アンデパンダンは、「誰でも自由に出品できる無審査かつ無賞の展覧会」です。

四万十町在住の方や四万十町にゆかりのある方からの写真作品を展示しています。

- 期 間 2月24日(土)～4月12日(金)
- 時 間 10:00～17:30(日曜のみ16:30まで)
※最終日のみ16:00まで
- 会 場 四万十町立美術館
- 入館料 無料
- 休館日 月曜日・祝日



お問い合わせ先

四万十町立美術館 ☎22-5000

おとなの発達障害について、一緒に学びませんか?

イベント

このたび、高幡ブロック精神障害者家族会研修会にて「おとなの発達障害について」の講座を企画しました。一緒に学んでみませんか? 「四万十町家族会ほほえみ」は、家族がともに手を取り合って心の病について学び、日頃の悩みを相談しあい、当事者や家族にとって暮らしやすくなることを目指して活動しています。ご興味のある方はぜひご連絡ください。

- 日 時 2月28日(水)13:00～15:30
- 会 場 四万十町役場 東庁舎2階 町民活動支援室 (第2部 フルート鑑賞は、みんなの家 ぐえん(北琴平町3-20)で行います。駐車場あります。)
- 定 員 30名



お問い合わせ先

四万十町家族会 ほほえみ ☎22-3702(由菜の里内)

そうながか! 武ジイの旅鉄案内 ～四万十ワイワイ編～

イベント

予土線全線開通50周年記念事業プレイベント

予土線は今年3月1日で50周年を迎えます。鉄道の歴史を知って架空列車をデザインするワークショップです。「こんな列車があったらいいな!」など空想してみませんか?

- 日 時 2月25日(日) 9:30～12:00
- 会 場 東庁舎 2階 多目的小ホール
- 講 師 武田幸司氏、Miya.m氏
- 定 員 25名(どなたでも参加できます)
- 参加費 無料
- 主 催 四万十町立図書館
- 後 援 予土線利用促進対策協議会



お問い合わせ先

四万十町立図書館 本館 ☎22-5000
四万十町立図書館 大正分館 ☎27-1193

ケーブルネットワーク放送番組審議会委員の募集

募集

この審議会は、放送番組の適正を図るための機関です。このたび審議会委員を募集します。

- 業務内容 番組審議会に参加し、放送番組内容などの審議(年に2回程度)
- 応募資格 町内在住でケーブルテレビに興味があり、自主放送をご覧になっている方
- 応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、郵送またはご持参ください。
- 任 期 令和6年4月1日～令和8年3月31日
- 募集人員 7人
- 応募期限 3月15日(金)17:00
- 応募用紙提出先

〒786-8501 四万十町琴平町16番17号
四万十町役場 企画課 広報情報係

※応募用紙のデータは、町のホームページよりダウンロードできます。



お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

令和12年度に

県内国保の保険料水準の統一を目指します。

市町村が市町村ごとにかかった医療費などを参考に保険料を決める現行の国保制度では、市町村間で保険料に格差が付きやすくなります。また、全国に先駆けて人口減少が進行している本県では、今後も加入者の減少が見込まれるため、国保制度の財政運営が不安定になり、急激な保険料負担の増加が起こる可能性があります。このままでは制度運営自体が危ぶまれます。

そこで、市町村内で支え合っていた仕組みを県全体で支え合う仕組みに変え、市町村格差を無くし、急激な保険料負担増加のリスクを減らすことによって、国保を安定的かつ持続可能な制度にするため将来的に保険料水準を統一することで令和4年8月22日に知事と市町村長が合意しています。

県内市町村における 今後の保険料

『県内のどの市町村に住んでいても、同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料』とすることで、医療費が抑えられてきた市町村では保険料が増加する場合があります。

このため、保険料負担の急激な変化を避けるために激変緩和措置が講じられます。また、将来的な保険料負担の増加抑制に向けて収納率向上や医療費適正化に県と市町村が一体となって取り組みます。

※医療費が増加すると保険料が上昇しますが、1人当たり医療費は全国的にも増加傾向ですが、その中でも高知県は全国8位の水準にあります。

四万十町における 今後の保険料

本町では、令和6年度から段階的に保険料率の改正などを行いながら、令和12年度の保険料水準の統一に向けた取り組みを推進します。

今後予定される国保税条例の改正については、意見公募手続条例第4条第2項の規定により意見公募手続きは実施しませんが、取り組みの推進にあたっては十分な情報提供に努めますので、町内被保険者の皆さまにおかれましては、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

市場を読んで 魚を届ける



けん いち
矢野賢一さん
(水産会社経営)

氷点下に冷え込んだ夜明け前の久礼新港。午前6時半、鮮魚店主など約30人が集まって競りが始まった。コンテナに入ったカツオが銀色に光っている。

矢野賢一さんが魚体とサイズを見て札を入れ、競り落としていく。どの大きさのカツオをいくらで仕入れたらベストなのか、ここ数日の価格や県外市場の状況などを計算して決める。

「これぐらいなら売れるかなという自分の判断だけ。もう25年やりゆうきね、この仕事」。情報を基に市場の“波”を読み、駆け引きがうまくいったときが面白いという。

矢野さんは丸正水産(本町)の2代目。朝早くから夜中まで、休みなく働く父の姿を見て育った。子どもの頃は家業が嫌だったというが、福岡県の大学を出て、そのまま現地の魚市場に就職。1日ごとに状況が変わる市場の仕事に楽しさを覚えた。2年間働いた後、25歳の時に実家へ戻った。

出荷業者として、カツオの買い付け量は高知県内でトップクラス。久礼や土佐佐賀、高知市弘化台などで仕入れ、その日のうちに高松や大阪、名古屋などの市場に向けて出荷



する。もちろん、四万十町内のスーパーや飲食店にも新鮮な魚を卸す。

午前8時。丸正水産の向かいにある魚市場に戻ると、仕入れたカツオを従業員と一緒にさばき、梱包していく。手先がかじかむ寒さ。作業中も、ハンズフリーイヤホンにひっきりなしに電話が入る。「うん、4キロ? イチサンキュウマル」。宇佐からの連絡。即座に入札額を決め、買い付けを指示する。「もうむちゃくちゃ忙しい。慣れたら大したことないけど」と笑う。

カツオの発送準備が一段落すると、興津の大敷(定置網)で取れたアジやブリを積み込んだトラックが到着した。矢野さんは、2022年から定置網の操業を始めた「四万十海心」の代表も務めている。選別台いっぱい魚を、種類と大きさごとに仕分ける作業が進む。将来的には漁業の規模拡大も目指したいという。

「魚に関しては四万十町の食を支えちゅう自負はある。そんなこと、誰にも言わんけどね」。日々確実に、淡々と海と食卓をつないでいる。

町にはこんな waza も

作文コンクールで大賞に! 青木朝陽さん 七里小学校5年

上空から七里の風景を撮影した映像を見て書いた作文「七里に生まれてよかった」が、県山林協会主催のコンクールで大賞(小学校高学年の部)に輝いた。「うれしかった。ユートピアみたいな七里の自然を思って書きました」

未来の
wazai!!

「ちよいwazai!!」
「未来のwazai!!」の
応募はこちら



こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。

令和5年度「新文化祭」開催

11月23日勤労感謝の日開催された新文化祭。目標集客人数を500人としていたところ約600人、前年比の2倍ほどの人数を集めた。にぎわいをみせました。今年度の「新文化祭」は、主に2年生の生徒が中心となって運営することや、生徒が地域の事業者さんに出店依頼する、模擬株主制度の導入などの取り組みが特徴です。



準備は今年の4月から始まり、2年生は事業者の呼び込みをする組や校舎の装飾をする組などに分かれ、それぞれ役割を分担しました。先生方から見ても前例のない取り組みであるため、上手くいくか不安という声もありましたが、全国の学校の文化祭の例を調べたり、株について知ったりと後に円滑に進むように懸命に手探りを続けました。10月11月に入る



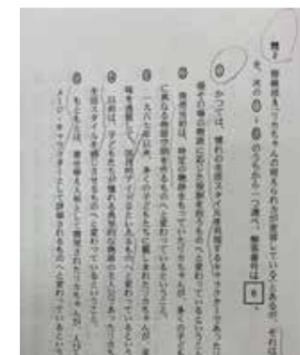
19歳、未来が動き出す。

じゆうく。の科目サポートってどんなことをしているの?

じゆうく。では、国語・英語・数学の授業を実施しています。今回は、国語の授業に焦点を当てて、生徒にどんな変化が出てきたのかをご紹介します!

生徒に聞いてみた! 実際どう変化した?

- Q、国語の授業を受ける中で、変化や成長は感じますか?
A、前よりは苦手意識が減りました。選択問題も自信を持って選べるようになりました。
- Q、授業ではどんなことをしていますか?
A、大学入試の過去問を使って問題を解いています。授業で現代を解くコツを教えてもらい、選択肢の中で本文と矛盾しているところがないか、言い回しや使っている言葉に注意して線を引ながら読む練習をしています。まだ間違えるところもありますが、正答率は確実に上がっています。



2016年度センター試験問題を解いている生徒の問題用紙

今までは「なんとなく」で解いていた生徒も、根拠を持って解答できるようになってきました。科目の特性に合わせた攻略の仕方がわかると、結果的に定期テストでも模試でも点数が取れるようになります。「受験に向けて頑張りたい!」「苦手な科目を克服したい!」という方は、ぜひ体験しに来てくださいね。

「じゆうく。」
公式facebook

お問い合わせ先 町営塾「じゆうく。」 ☎ 22-3163

昔から大切にされている
神仏習合の文化と慣習



おの 小野

目と鼻の先の十川村ではなく、 昭和村に属していた。

国道381号の十和トンネルを西に抜け、左手に目をやると、緩斜面に広がる集落が現れる。小野である。

小野の北西対岸の十川とは目と鼻の先の近さである。この位置関係を見れば、小野は元々十川村に属していたのだろうと思いきや、昭和村に属していたのである。しかし、聞けば「経済圏としても、人の交流にしても、十川との関わりが密接だった」という。

休校で子どもたちはニンマリ!・・とはいかず。

国道から小野へと架かる抜水橋の下方に沈下橋跡が残る。ここに架かっていた沈下橋は橋桁が低かったため、増水時は沈みやすく、渡れない事態になることも多かった。しかし、小野には商店もあり、また、2kmほど下れば十川の沈下橋を渡れたことで「何とかあった」という。ただし、児童たちはそうはいかない。小学校は対岸の久保川にある。増水したからといって、大人のように十川を回って行くわけにもいかない。川を渡って通学する他の地区同様、休校となり子どもたちはニンマリ!・・とはいかなかったのが小野であった。十川の沈下橋を渡って、教員が授業をしに「来てくれた」というのだ。当時の子どもたちの複雑な心情を聞いて笑ってしまった。



沈下橋ができる前は「竹の浮き橋」だった(小野集会所にある写真より)

今も残る典型的な神仏習合の文化

十和地区の耕地面積第2位が小野である。しかし、小野には大きな谷がなく、昔から人々は小さな谷の水を溜池に集めるなどの工夫を凝らし耕作してきた。主な作物は、キビや芋。さらに養蚕も盛んであった。小野の養蚕農家は、母屋・炊事場・作業場などの配置がだいたい同じで「祭時などで酒に酔った人が家を間違えることがよくあった」という。

近代に入って、農業用水を川から汲み上げることが可能になり、米作も盛んになった。

産土神は曾我神社である。元は四万十川近くにあったが、明治23年の大洪水の後、現在の場所に移された。隣には常楽山 願成寺と八坂神社がある。今も昔も、寺社が祭事を共にすることが多く、一体感がある。まさに神仏習合である。願成寺は、廃仏毀釈令によって、明治4年にいったん廃寺となったが、なんと10年も経ずに復興。これだけのスピード復興を果たせたのは、小野の人々が神仏習合の文化を大切にしてきたことと無縁ではあるまい。

町のうごき

(12月31日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	7,399	-27	男 3	20	8	18
女	7,998	-14	女 1	15	14	14
計	15,397	-41	計 4	35	22	32
世帯数	8,067	-14	(12月中の届出)			

窪川地域 10,961人 大正地域 2,114人 十和地域 2,322人